

◆ 広域水道施設整備事業費の負担区分算出の基本的な考え方

資料3

1. ブロック分け



2. 負担区分算出の基本的な考え方

- ① 事業費に対し、
全事業費の1/2 → 全事業体で有収水量按分
全事業費の残りの1/2 → ブロック別で有収水量按分
- ② 企業団としての事業を開始する平成30年度以降の負担区分については、前年度の有収水量実績値を用いて当該年度の負担区分を算出するものとする。
- ③ 今回の財政収支の試算においては、直近である平成26年度の有収水量実績値を用いて負担区分を算出し、これを反映して収支の試算を行うものとする。